

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 15-006

PDCA	事務事業名	部課等名	福祉部 地域福祉課 地域福祉担当	担当 内線等	柳原沙 346		
<b>P</b> 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち 節： 第2節 地域福祉の推進 基本施策： 2. 高齢者福祉 単位施策： (2) 高齢者生きがいつくりの推進 個別施策： ①地域社会への参加の促進					
	根拠法令等	半田市亀崎地域総合福祉センター条例					
	対象・目的	地域住民が快適に利用できる施設づくりを行うことで、介護予防や地域づくりに寄与する。					
	目的を達成するための手段・活動内容	自治区や各種ボランティアなどとの協働による様々な活動の展開が期待できること、地域住民の支持を受けやすいことから、地元コミュニティへ運営を委託する。市は利用者が安心して利用できるよう施設の管理を行う。					
<b>D</b> 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①利用者向けイベント等事業実施回数	143	141	110	回	
		②開館日数	287	287	285	日	
		③					
		事業費	9,833	10,961	12,112	千円	
		人件費	1,271	1,142	1,562	千円	
		総事業費	11,104	12,103	13,673	千円	
	活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位		
	①開館1日あたりのコスト	38	42	48	千円		
	②						
③							
成果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位		
	①年間延べ利用者数	実績値	88,660	80,616	77,711	人	
		目標値	103,000	100,000	90,000		
	②	実績値					
		目標値					
③	実績値						
	目標値						
<b>C</b> 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	中程度	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
事業の評価・課題	<p style="text-align: center;"><b>C</b></p> 施設の老朽化を考慮し定期点検だけでなく日常点検についても確実に実施し、不具合箇所等があれば早急に対応したことにより、地域の方たちに安心して施設を利用してもらうことができた。また、事業運営を委託している地域コミュニティや地域の方たちと連携し、介護予防の取組み等を積極的に実施したことにより、地域における福祉向上に資することができた。						
<b>A</b> 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	<p style="text-align: center;"><b>改善推進</b></p> 施設の老朽化が進んでいるため、地域住民が安心して利用できるよう、引き続き、定期点検及び日常点検を行い、不具合箇所の早期発見及び計画的な修繕等に努める。また、引き続き、事業運営を委託している地域コミュニティや地域住民との連携を強化するとともに、子どもから高齢者までの総合的な施設としての取組み、企画等の支援に努める。					
	令和元年度の目標	成果指標	目標値		単位		
		①年間延べ利用者数	80,000		人		